

平成29年度(前期)助成団体及び活動

(長期継続活動支援事業)

番号	団体名	活動名	活動内容	青少年参加対象者
	住所	活動期間		人数
1	言葉の森後援会	聞こえない・聞こえにくい子どもたちの育ちを地域で支えよう ～子どもたちの幸せな自立を目指して～	<p>聴覚障がい児・者関連機関と連携し、家に閉じこもりがちな聴覚障がい児・者同士が楽しく交流できる場を創造したり、様々な価値観を持った人との出会いの場を設けることで、将来の自立に展望を持つことができるよう、3年を掛けて交流活動を定着させていこうとするもので、今回3回目の申請。</p> <p>平成27年度から聴覚障がい児の育成に本格的に取り組み、放課後子どもクラブ(未認可)の運営、子ども向けの課外授業等を実施。28年度は、多機能型事業所(放課後等デイサービス事業や児童発達支援事業)の正式設置に向けて法人化された。</p> <p>29年度は、放課後子どもクラブ(多機能型事業所)の移管や講演会・研修会および手話パフォーマンス大会等の交流会の共同開催など、順次、新設の聴覚障がい教育支援NPO法人「言葉の森くめ」に引き継いでいく予定。</p> <p>(27年度前期、28年度前期に助成歴あり)</p>	3歳～18歳
	久留米市	[3年目] 平成29年4月～平成30年3月 (平成27年度～平成29年度)		延べ1000名
2	福津市子ども読書連絡協議会	絵本や本の楽しさを子どもたちに2017	<p>小中学生への読み聞かせやブックトーク、絵本作家の講演等で絵本や本の世界の楽しさを知る体験を通じて、読書の幅を広げて子どもたちが豊かな人間性を育み、読解力の底上げの一助となることを目的とするもの。今回初めての申請。</p>	3歳～大学生
	福津市	[1年目] 平成29年4月～平成30年3月 (平成29年度～平成31年度)		延424名
3	子どもに能楽を勧める会(英扇会)	「子どもと留学生の能楽発表会」と「小学校でのワークショップ」	<p>子どもたちや留学生に能楽を学ばせることで、日本古来の伝統文化への理解や、礼儀作法、集中力、向上心を高めるなど、健全な育成に繋げようと活動されているもので、長期継続活動として採択されたもの。</p> <p>2年目である28年度には、新たに地元浅川小学校でクラブ活動としての体験型能楽ワークショップに取り組んだが、集大成の29年度は定期的に年6回程度を実施し定着と内容の充実に取り組むとともに、他校への拡大を図っていく。</p> <p>(26年度追加分、27年度前期、28年度前期に助成歴あり)</p>	4歳～19歳
	北九州市八幡西区	[3年目] 平成29年4月～平成30年2月 (平成27年度～平成29年度)		186名

平成29年度(前期)助成団体及び活動

(長期継続活動支援事業)

番号	団体名	活動名	活動内容	青少年参加対象者
	住所	活動期間		人数
4	宇美町スポーツ少年団	宇美町スポーツ少年団 リーダー育成事業	<p>地域のスポーツクラブとして、少年リーダー育成に焦点を当て、27年度から取り組まれているもの。28年度には「宇美町スポーツ少年団リーダー会」の正式発足をみた。</p> <p>29年度も県や九州のリーダー研修会等への参加を通して、リーダー育成・資質の向上に努めるとともに、リーダーの主導による全体交流会やジュニアリーダースクールの企画運営、リーダー会機関紙の発行などに従事させ、子どもたちによる自主運営や対外対策の経験等をさせることで次代を担う指導者養成を目指されるもの。</p> <p>〔スポーツ関連〕 <b>(18年度、19年度、27年度前期、28年度前期に助成歴あり)</b></p>	11歳～19歳
	糟屋郡宇美町	〔3年目〕 平成29年4月～平成30年3月 (平成27年度～平成29年度)		300名
5	囲碁センター碁楽・碁楽こども囲碁教室	子供囲碁教室交流会	<p>県南の子どもたちが一堂に会し、囲碁を通じた友好を深め、地域における年代を超えた交流を重ねることにより豊かな心や大いなる志を持った青少年を育成していこうとするもので、長期継続活動として採択されたもの。</p> <p>27年度は、県南地域の囲碁教室と連携し、組織的に大規模な大会を開催された。28年度は、県内6か所で囲碁大会実施。また、大牟田線沿線囲碁教室が集まった県南囲碁大会を実現。小学校での囲碁授業や、老人ホーム等への慰問などを実施された。</p> <p>29年度はこれらの活動を踏まえ、より大きくまとめ、子どもたちの健全育成、交流促進のため全県的な子ども囲碁大会の実現を目指し、4月をめどに実行委員会を立ち上げ、県内子供囲碁教室をまとめる新団体設立を予定。</p> <p><b>(27年度前期に助成歴あり。共催の「小郡市古賀区こども囲碁教室」は、21年度、22年度、23年度、27年度前期、28年度後期に助成歴あり。)</b></p>	7歳～18歳
	久留米市	〔3年目〕 平成29年4月～平成30年3月 (平成27年度～平成29年度)		100名
6	福岡県和ごま競技普及協会	ちびっこ指導員による 和ごまの指導	<p>消えてしまった子ども社会を再生し異年齢で遊ぶ共通の場を創ることが必要との思いから、子どもたちの共通のツールである和ごまを通じた青少年育成を行う。</p> <p>これまで16年間の活動により、子どもが子どもを指導する「ちびっこ指導員」制度をつくり、県内各地で指導を行っている。各地から指導要望が多くなり、指導員の移動手段が課題となった。</p> <p>28年度は県内3か所で約90名の子どもたちを指導。29年度は、さらに地域を3か所増やし、指導を行う。</p> <p>〔スポーツ関連〕 <b>(15年度、16年度、17年度、28年度前期に助成歴あり)</b></p>	5歳～12歳
	太宰府市	〔2年目〕 平成29年5月～平成30年1月 (平成28年度～平成30年度)		120名

平成29年度(前期)助成団体及び活動

(長期継続活動支援事業)

番号	団体名	活動名	活動内容	青少年参加対象者
	住所	活動期間		人数
7	にじいろ	「ふくおか・プレ弁当の日」 ～ふくおか弁当の日を、 幼児親子で実践しよう～	<p>「ふくおか弁当の日」に合わせて、幼児や小学校低学年の子とその親を対象とした農業体験、酪農・養鶏場見学、料理教室などを行う活動で、長期継続活動として採択された。</p> <p>27年度は、農業体験の中で酪農や養鶏を通して生き物の命を頂いて暮らしていることを実感する調理実習やワークショップを実施した。28年度は「米」に着目し、種まきから稲刈りまでの稲作体験をさせ、収穫の大変さや減農薬栽培の難しさを実感した。</p> <p>29年度は、「畑作」を子どもたちに体験させ、自分で弁当を作りイベントに参加できるまで育てて行くとするもの。</p> <p>〔食育の推進〕 (27年度後期、28年度前期に助成歴あり)</p>	2歳～12歳
	京都郡苅田町	〔3年目〕 平成29年4月～30年3月 (平成27年度～平成29年度)		50名
8	壱鼓館	子ども和太鼓体験教室	<p>障がいを持つ子どもたち(あらゆる障がい児対象)に、和太鼓の指導をするには、個々人の障がいの程度に合わせて焦らず繰り返し教えていくこと、時間を掛けて丁寧に取り組むことの必要性を実感したため、28年度に改めて長期継続活動として申請された。</p> <p>長期2年目の29年度は、子どもたち同士の教え合いや意欲の向上が見られることから、年齢や症状、経験度合いにあわせてグループ分け等をし、よりきめの細かい指導を行い、子どもたちの自信と自立を促していく。</p> <p>(27年度後期、28年度前期に助成歴あり)</p>	7歳～18歳 (小・中・高校生)
	福岡市東区	〔2年目〕 平成29年4月～30年3月 (平成28年度～平成30年度)		12名

(短期活動支援事業)

番号	団体名	活動名	活動内容	青少年参加対象者
	住所	活動期間		人数
1	こども花たんプロジェクト	こども花たんプロジェクト	<p>放置状態であった大牟田市大正町4丁目交差点のロータリーを綺麗にしたいと、地域の人たちが協力して立ち上げた。</p> <p>今回の申請では、花壇の植替え等、1年を通じた花壇の世話をさせることで、子どもたちに植物への興味や土壌との触れ合い、色彩感覚や責任感を持たせることにより、成長につなげる。</p> <p>〔環境保全関連〕</p>	3歳～12歳
	大牟田市	〔1回目〕 平成29年4月～平成30年3月		延600名